週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
©2010 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing／Amusement Press Japan
planning & production／Amusement Promotion
／Up Grade　printing／Four Plus One
本紙記事の無断転載を禁じます。

HEAD LINE

2面
新機種紹介
パチンコ
『CRA氷川きよし～きよしの前に座りましょう～for遊』大一商会
パチスロ
『デビルマンⅡ 悪魔復活』エレコ
●「CRギンギラパラダイス2」内覧会　三洋物産
●入替自粛期間 続々と決定

3面
●パチンコ・パチスロファン感謝デーPR大使に和泉ピン子
●「パチスロの日」制定記念発表会　日電協・回胴遊商
●心臓移植の募金に全面協力　NEXUS
●高効率・高機能のLED発表　遠藤照明
●カジノ人材育成学校が開校
●本誌運載中の増田氏が講演　タヤマクラブ遊技部会

4面
●『びっくりぱちんこ 爽快 水戸黄門2』
7・17幕張メッセで特別先行展示会

2010年（平成22年）7月12日　月曜日　第234号（毎週1回発行）
APJ
本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）
パチンコ・パチスロ最新機種速報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2010年 7月12日（月曜日）
編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

低玉貸しパチンコ 実施店 7割に

4円ユーザー離れを反映!?

ピーワールド・インサイトの調べによると、P-WORLDに登録している1万1152店舗のうち、パチンコの低玉貸し実施店が6月末時点で約7割（7168店舗）に達した。昨年末からの半年間で5ポイント、店舗数で502店舗の増加となった。4円貸しの稼働低下で、「4円の繁盛店」といわれる店舗でも低玉貸しを導入せざるを得ない状況が浮き彫りになった。

ピーワールド・インサイトの調査対象店舗1万1152店のうち、パチンコの低玉貸し実施店は6月末時点で7168店舗。昨年末から今年6月末までの半年間で502店舗増加した。半年ごとの推移をみると、09年1月から6月末までが1139店舗増加、6月末から12月末までが1348店舗増加。それに比べると今年に入って増加ペースは鈍化している。

貸し玉料金別にみると、1円貸し実施店が6813店舗で、09年12月末から半年間で502店舗増加した。これは低玉貸し実施店全体の増加店舗と同数。「2円」や「その他」の貸玉料金を実施する店舗も若干増えているものの、1円貸しとの併設がほとんどのようだ。

都道府県別では、福井県、北海道、徳島県の実施店割合が高く90%を超えている。逆に東京都、神奈川県を筆頭に首都圏は実施店割合が低い。4円貸しと低玉貸しの併設を自主規制している福岡県の実施店割合は約40%となった。この40%は全てが低玉貸し専門店だ。

パチスロの低メダル貸し実施店割合はパチンコと比べると依然低いままで20%に満たない。この半年間で増えたのは12店舗。貸しメダル料金別では5円貸しがもっとも多いが、実施店割合は15%程度に留まっている。

元々、射幸性が低くなったことがパチスロのユーザー離れにつながった面もあり、さらに射幸性が低い遊技形態はそれほどニーズが高くないと言われてきた。しかし、このところのパチスロ人気、それに伴うコイン単価の上昇を考えると、今後はパチスロをもっと安価で遊びたいというニーズは高まるかもしれない。

4円ユーザー離れで繁盛店でも低玉導入

「低玉貸しを導入していなかったホール」を母数と考え、それらのホールが半年間でどれくらい低玉貸しを導入したかという「低玉貸し導入率」を算出すると、09年末～10年6月末にかけては約13.5%（その間の新規出店などは考慮せず）。その前の半年間の導入率が25%以上だったことを考えると、確実に伸びは鈍化している。

これだけ低玉貸しが普及した中、今年初頭まで低玉貸しを導入せずに営業を続けてきたホールは、基本的に4円の高稼働店が多いと考えていただろう。母数のホールが繁盛店に絞られれば絞られるほど新規の導入率が鈍化していくのは当然とも言える。

それでも半年間で502店舗が新たに低玉貸しを導入したのは、少ないと見るべきか、多いと見るべきか。この半年間の傾向として、特に4円パチンコの稼働低下が目立った。それに伴い、4円、1円の両方を遊技するユーザーが増加したという声もホールからは聞かれる。こうした環境の変化は、それまで実施していなかったホールが低玉貸しを導入した理由のひとつと言えるだろう。

パチスロの状況が上向いたこともこの間の傾向だが、これは逆に「低玉貸しを導入しなかった」理由となったようだ。あるホール関係者はこの半年間の状況を次のように語る。

「地域一番店として4円パチンコだけで維持していくという方針を続けてきたが、昨年末から稼働が落ち始め、厳しい状況になってきた。1円パチンコ導入やむなし！と考えていたが、そんな時期にパチスロの状況が好転し始め、パチスロ増台という選択肢ができた」

結局、このホールでは今年になってパチスロを増台。4円パチンコの稼働低下をパチスロがカバーしたという。このように積極的にパチスロを増台するホールは少ないとしても、今後は「パチスロを減台して低玉貸しパチンコを導入する」というホールは減ってくるだろう。

ただし、エンタテインメントビジネス総合研究所のチーフコンサルタント、中川系太郎氏は次のように警鐘を鳴らす。

「低貸玉への変更のほかに選択肢が増えたわけですが、パチスロは客数が増えたというより、一人の稼働時間や頻度が増えたことによる稼働アップもあり、まだ安心できる状況とは言えないだろう」

今後も増える実施店 来年1月は80%!?

では、今後の低玉貸し導入店割合はどのように変化していくのか。本紙が現在低玉貸し営業を行っていないホールに「今後低玉貸し営業を導入する予定があるかどうか」を聞いたところ、「導入する予定がある」と回答したホールはわずかに10%。「導入する予定はない」が73%と大半を占めた。

「導入する予定がある」と回答したホールの理由は以下のようなもの。

「エリアで低玉貸し営業を行っていない店が当店と大型店だけのため、低玉貸しを実施しなければならない状況になった」（愛知県）

「4円等価のみの運用では稼働が保てないため」（埼玉県）

「客数が減少しているため客数を増やしたい」（茨城県）

やはり、4円貸し稼働低下の影響が大きいようだ。ただし、「導入する予定はない」と回答した以下のホールの声も、決して4円貸し稼働が順調というわけではない。

「低玉コーナーへの顧客の移動だけで終わりそうな気がする」（広島県）

「見かけの稼働より4円営業を磨かなくては経営が成り立たない」（静岡県）

「導入メリットがあるのは承知のうえだが、自店の規模・立地を考えると難しい」（岐阜県）

経営環境の変化にもよるが、今後は低玉貸し導入率は微増を続けていきそうだ。エンビズ総研の中川氏は「来年の1月末で80%程度に達したあたりで頭打ちになるのでは」と予想。一物一価の遵守など、低玉貸し営業にとって逆風になる要因については「この程度の指導が入るか未知数だが、現状では低貸営業は可能で、それほど（低玉貸し導入の）阻害要因にはなっていない」とみている。

さらに、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの浦部雅充チーフコンサルタントは、10月～11月の入替えと繁期間で低玉貸し実施店が増えるのではないかと予測している。

「10月～11月のAPEC自主規制期間に有効な営業施策が打てないホールが低玉貸し営業を導入する可能性がある。さらに、12月の割賦販売法の規制による顧客側要因で稼働が落ちる時期に、低玉貸し営業は加速するのではないか」

半数を切った4円設置台割合

導入店割合が70%に達した今、より注視しなくてはならないのは、「台数」だろう。各店舗において、低玉貸しの施策を考える場合、実施店の台数より、商圏の台数バランスを重視するはずだ。

「既に低玉貸しを実施していた店」が低玉貸しの台数をさらに増やしたり、専門店化したりといった動きは多い。アンケートでは「低玉貸し営業を実施しているホール」に、導入時から現在までの低玉貸し総台数の変化を聞いたが、増台したホールが過半数を占めた。

「台数割合」については正確な数値がないが、例えば、マルハンが約260店舗のドライブ15分商圏を調査した今年4月の数値では（マルハン店舗を除く）、4円パチンコ49%、低玉貸しパチンコ23%、パチスロ28%となっている。調査対象台数は106万台と、市場の約4分の1をカバーしているため、この数値の信頼性は高い。

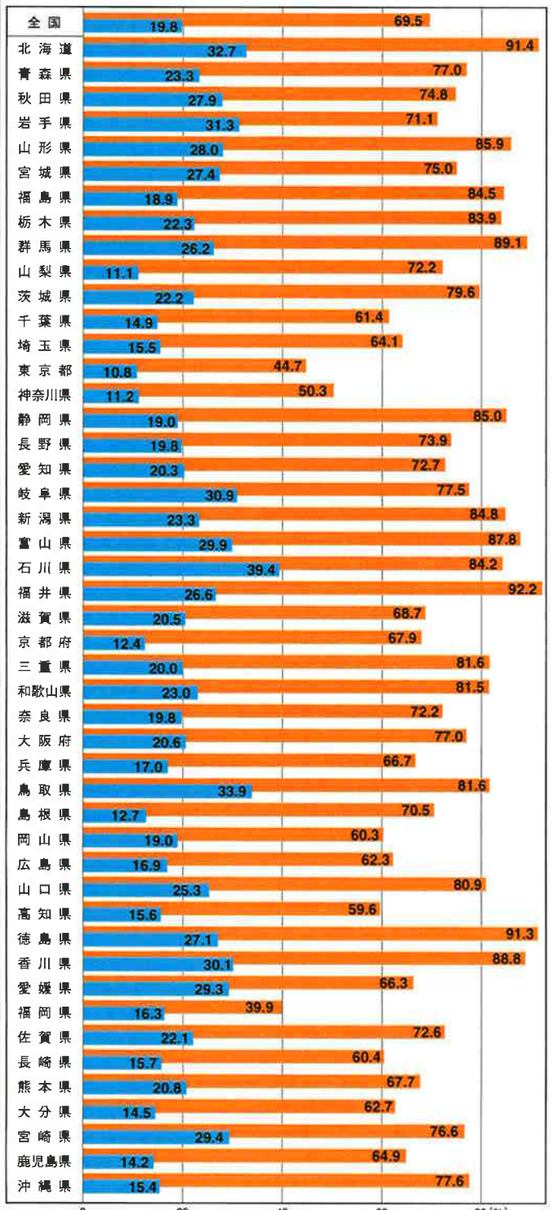
これをみると、既に4円パチンコは遊技機総台数の半分を切っている状況だ。パチスロ4号機全盛期でさえ、4円パチンコの設置割合は6割を切ることがなかった。5号機撤去後、MAXタイプを中心に好調なパチンコがホールの業績を支えたが、収益面でパチンコに依存しすぎたため、ユーザー負担が増え、4円ユーザー離れを進行させてしまったという側面は否定できない。低玉貸しパチンコの実施店が増えてきた今、もう一度、4円パチンコの位置づけを考えてみるべき時期なのかもしれない。

調査概要

株式会社ピーワールドが運営する、全国パチンコ店情報サイト「P-WORLD」（http://www.p-world.co.jp）に登録された全国加盟ホールの設置機種情報より、「低貸玉機種」の台数を集計。
※P-WORLD加盟ホール数：11,152店（2010年5月末時点）　※「低貸玉機種」の定義
■パチンコ：貸玉金額が0円以上4円未満で登録されている機種
■スロット：貸メダル金額が5円以上20円未満で登録されている機種

掲載データに関する問い合わせ先：株式会社ピーワールド・インサイト
URL：http://www.p-wins.net/　mail to：info@p-wins.net

都道府県別低玉貸し実施店割合



※ピーワールド・インサイト調べ　調査対象日：2010/6/29

図1　低玉貸し営業店割合の推移

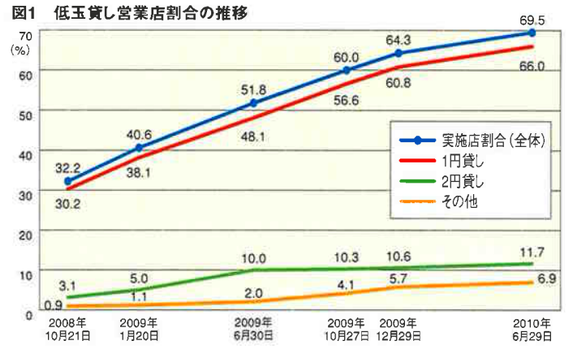
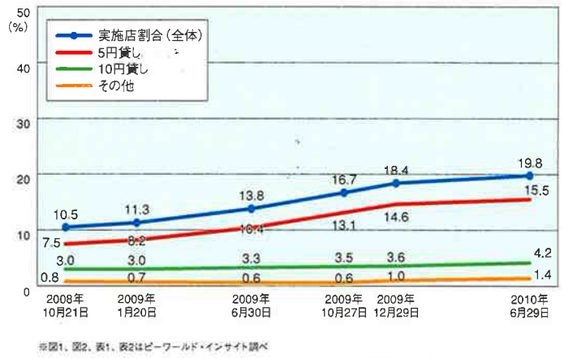


図2　低メダル貸し営業店割合の推移



※図1、図2、表1、表2はピーワールド・インサイト調べ

表1　低玉貸し営業店舗数の推移

	調査日	調査店舗数	1円P	2円P	その他	実施店舗数
2008年	10月21日	10,200	3,083	315	87	3,282
	1月20日	10,297	3,925	519	112	4,179
2009年	6月30日	10,263	4,938	1,021	210	5,318
	10月27日	10,319	5,842	1,063	428	6,196
	12月29日	10,373	6,311	1,097	589	6,666
2010年	6月29日	10,315	6,813	1,209	707	7,168

表2　低メダル貸し営業店舗数の推移

	調査日	調査店舗数	5円S	10円S	その他	実施店舗数
2008年	10月21日	10,854	813	285	84	1,145
	1月20日	10,852	885	304	72	1,224
2009年	6月30日	10,711	1,116	351	68	1,475
	10月27日	10,682	1,401	371	69	1,782
	12月29日	10,724	1,561	386	107	1,975
2010年	6月29日	10,625	1,642	448	153	2,100

図3　導入時から現在までの低玉貸し総台数の変化

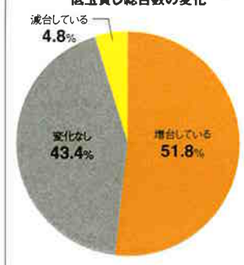
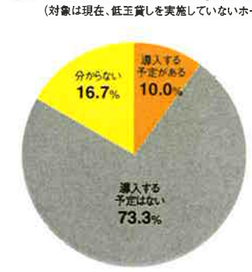


図4「低玉貸し営業」の今後の導入予定
（対象は現在、低玉貸しを実施していないホール）



※図3、図4はアミューズメントジャパン調べ